

情報モラル教育を どうどう考えるか

10th視聴覚教育総合全国大会
2006.11.18

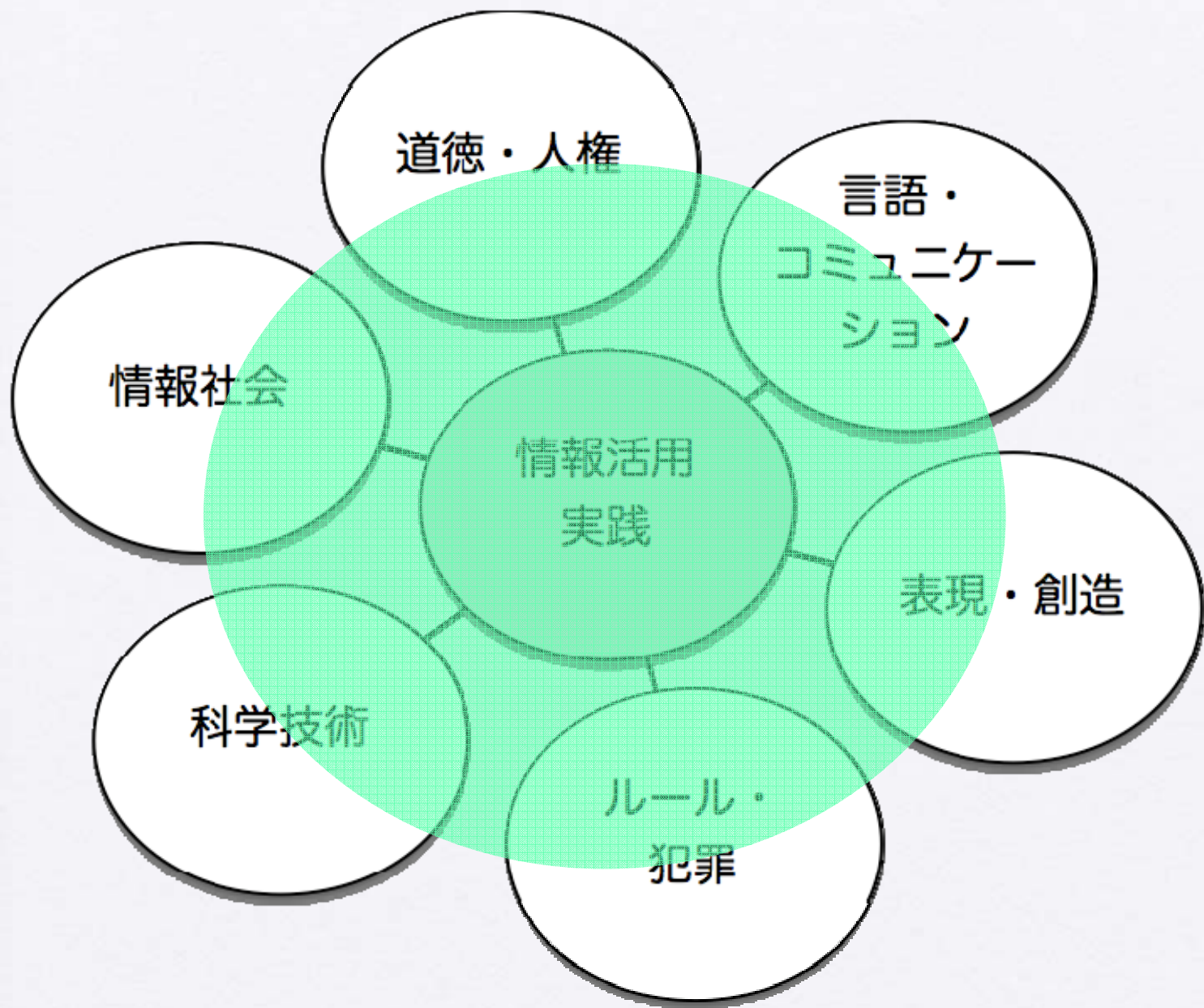
黒上晴夫

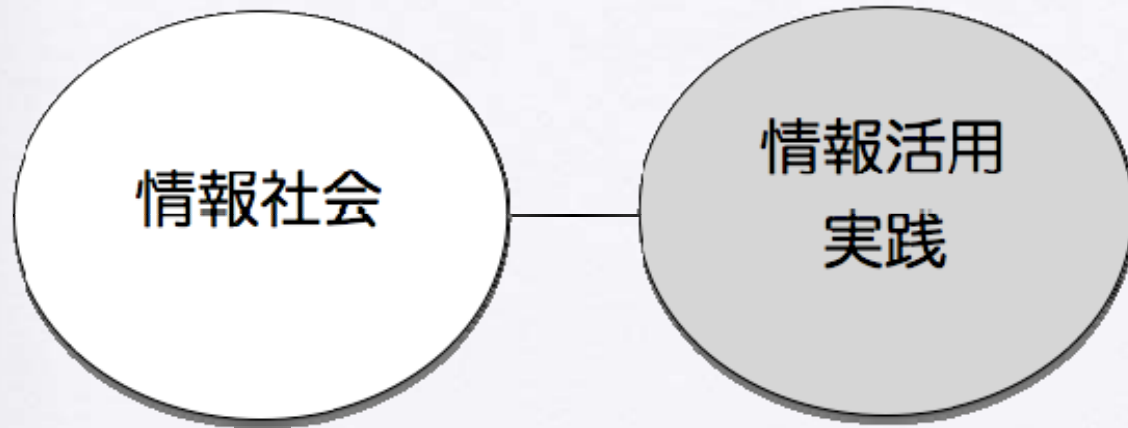
kurokami@mbc.ocn.ne.jp

基本的スタンス

- 引き返せない
- 理想主義は役に立たない
- 制限では防げない
- ネットワークは基礎・基本

情報モラルの射程

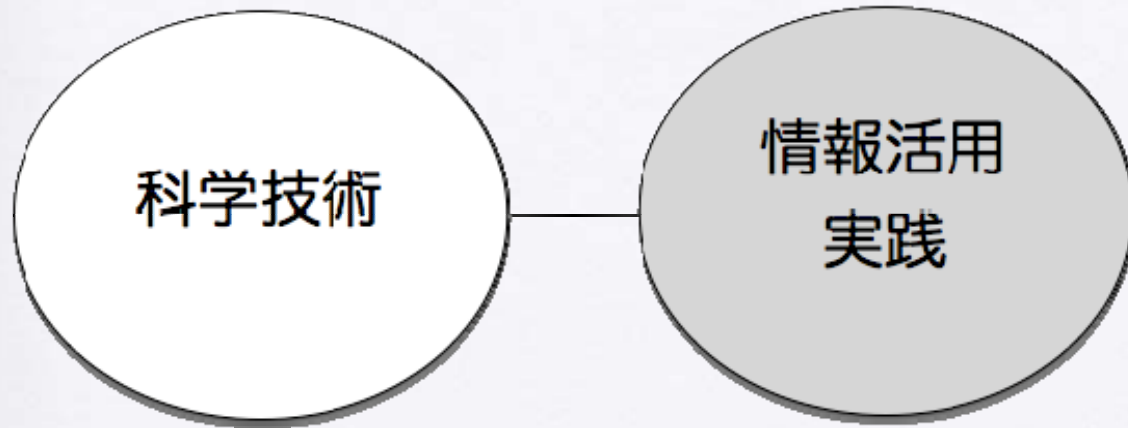





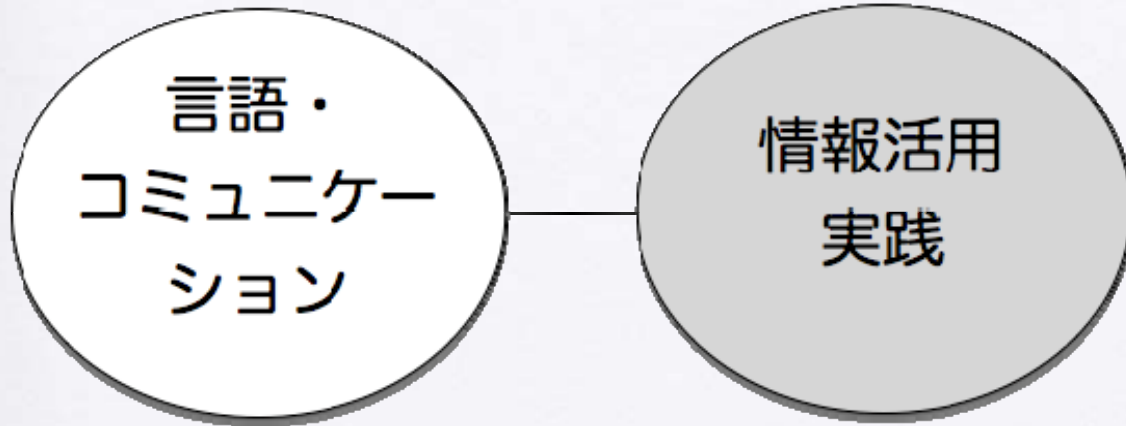
- グローバル化と社会格差
- 弱者・マイノリティの声と“虚偽・偏向・妄想”



- 生産者なしには社会が成立しないこと
- 情報化が及んではいけない場所・領域があること
- 常識を学ぶこと



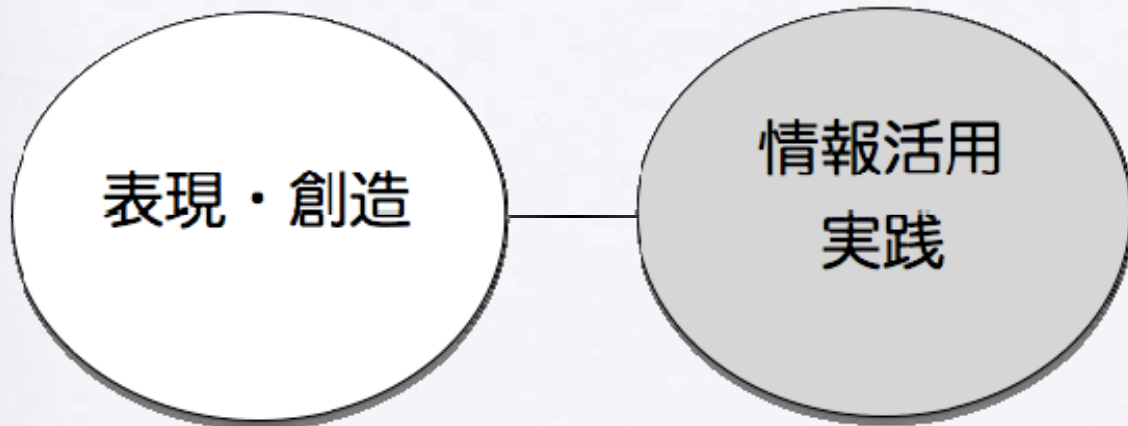
- 新しい技術と廃れていく技術
 - 悪意のある技術の伝播
 - 能力の拡張と退化
- 
- 技術が見えなくなることの怖さ
 - 技術開発における価値
 - 本来は（自力で）何ができるべきか



- 言語の変化と公式用法
- 便利さと依存



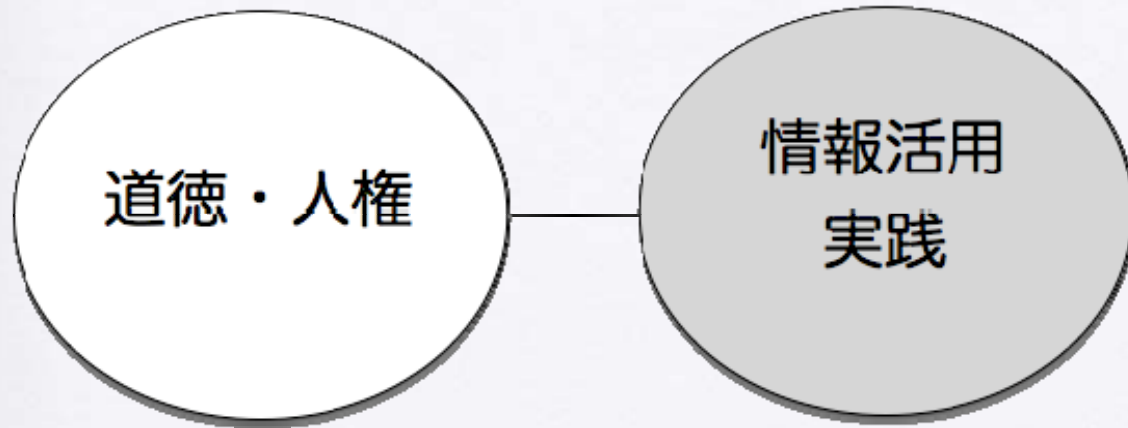
- マルチメディアだからこそ“ことば”が大事
- 相手との“関連性”を高めることが大事
- 時間の所有者意識



- 芸術の変化と機能依存
- 消費者・利用者と表現者（権利）



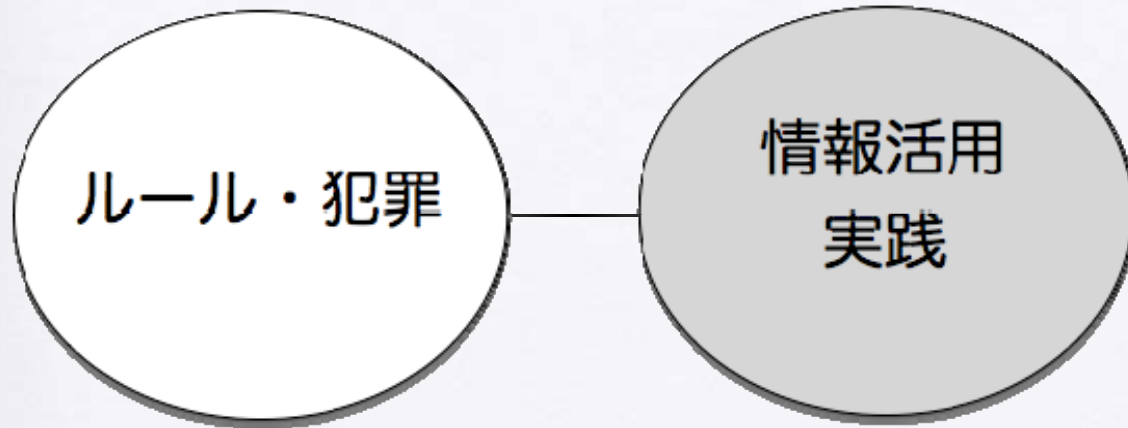
- 実体験と楽しさと大事さ
- 表現によって生まれる価値
- 共有の価値



- 秘匿性の高さの中傷・差別情報
- ネットワークボランティア



- 匿名の両面
- ネットワークにおける匿名性の意味
- ネットワークの社会的影響と自分に返る筋道



- サーバー犯罪の概念と犯罪者像の変化
- 変更を迫られているルール



- 何が犯罪になるのかについての知識
- ルールを守る方法についての知識

方向性 1/2

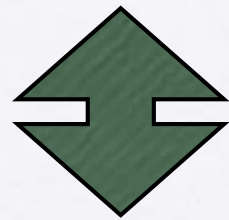
- インモラル行動を防ぐ
 - 知識として“べからず”を覚えても、行動と結びつかない
 - 事例を知らせる
 - ネットワークに（通常）匿名性はないことを知らせる
 - トレースバック技術の概要

方向性 2/2

- 被害を防ぐ
 - 具体的な事例を示す
 - チェーン→金銭→出会い
 - “脅迫”が自分だけではないことを知らせる手段を設ける
 - 相談窓口を設ける・紹介する
 - 警察の「サイバー犯罪対策」についての知識を写える

『私たちと情報5/6年』（学研）より

- 昔だったら難しいと思うことでも簡単にできるようになり、便利になったと
- 昔に比べたら時間も節約でき、その分ほかのことに時間を使えるようになった
- さまざまな調理ができてり、多くの情報が入ってきたりして、生活が豊かになった



- 生活習慣やマナーが変化してきている
- 機器がないと生活できない

『私たちと情報5/6年』（学研）より

Webページによる情報発信の責任

- 取り消すことが難しい
 - 可能のせられた情報は、取り消すことがほぼ不
- 情報の正確さに責任を持つ
 - 発信前に信頼性をチェック
 - 自分の考えと事実をはっきり区別
 - 出典を明示
 - 統計データ・数値データは調査の日付
 - 最新の状態に保つため更新
- 権利にも気を配る
 - 知的財産権、肖像権について正しい知識をもつ

『私たちと情報5/6年』（学研）より

- コマーシャルのしくみのまとめ
 - 本当に良い者かどうか，自分で判断することが大事
- いどし意報
るのた図を
いよねが冷
るう。あ静
なに。り
コエいま受
マ夫ろすけ
ーしい。止
シてる発め
ヤつな信る
ルく情しこ
がら報たと
れに人が
どてはの大切
のい意図で
よる発図す
うか信をす
なわし考ね。
意がたえ，
図り人
でまが情

『私たちと情報5/6年』 (学研) より

- 身の回りの知的財産権
 - 商標マーク
 - よく似たブランド名 (SENY) をどう思うか
 - 特許
 - 著作権
 - 著作権の発生
 - 許諾の必要性